



守屋多々志作  
「天平の楽人」

# 大垣市議会だより

発行：大垣市議会 編集：市議会だより編集委員会 TEL：0584-47-8073

### 大垣市民の誓い

私たちは 水を生かし  
緑を広げ 安全に努め  
心を育て 助け合います

<インターネットURL>  
大垣市議会 検索

大垣花火大会 2尺玉と墨俣一夜城（歴史資料館）



## 第2回市議会定例会

## 平成28年度一般会計

## 補正予算などを可決

第2回市議会定例会を6月6日から20日までの日程で開催しました。

初日には大垣市教育委員会委員の任命、大垣市固定資産評価審査委員会委員の選任、人権擁護委員候補者の推薦についての3議案を先議した後、市長から平成28年度一般会計補正予算などについて提案説明を受けました。

13日には11名の議員が市政運営に関する一般質問を行い（2、3面に掲載）、15日から17日には各委員会において付託議案の審査を慎

### 定例会日程

6月6日	本会議（提案説明）、議会運営委員会
13日	本会議（一般質問）
15日	子育て支援日本一対策委員会 市民病院に関する委員会
16日	建設環境委員会、経済産業委員会
17日	文教厚生委員会、企画総務委員会
20日	議会運営委員会、本会議

重に行いました。20日の最終日には、各委員長から審査結果の報告を行い、市長

### 可決された主な議案

#### 補正予算 【一般会計】

◇個人番号カード等の事務に係る国の交付金の上限額が引き上げられたことに伴う関連事務費交付金として3860万円を計上。

◇持続可能な公共交通機関として養老線を維持していくため、設立予定の養老線地域公共交通再生協議会への負担金として400万円を計上。

◇農作物への被害防止のため、シカの捕獲対策を強化する地域連携鳥獣捕獲委託料として120万円を計上。

#### 【病院事業会計】

◇市民病院において平成25年6月に発生した医療事故の和解を成立させるため、賠償金800万円を計上。

#### 条例等

◇大垣市市民サービスセンター設置条例の一部改正  
赤坂総合センターの廃止による赤坂サービスセンターの移転に伴い、所要の改正を行うもの。

◇大垣市議会議員及び大垣市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部改正  
公職選挙法施行令の一部改正に準じ、市議会議員及び市長の選挙に係る選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公営に係る限度額を引き上げるもの。

◇大垣市子育て総合支援センター条例の一部改正  
大垣駅南街区市街地再開発事業の再開発ビルに「キッズピアおおがき子育て支援センター」を設置することに伴い、所要の改正を行うもの。

◇大垣市道路占用料徴収条例の一部改正  
電気事業法の一部改正に伴い、引用条項について整備を行なうもの。

◇大垣市非常勤消防団員等損害補償条例の一部改正  
非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正に伴い、障害厚生年金等が併給される場合の傷病保障年金等の調整率を引き上げるもの。

# 一般質問

6月13日に  
一般質問を  
行いました

## 子どもの貧困実態調査について

中田 としや

**質問**…平成26年に施行された子どもの貧困対策の推進に関する法律では、地方公共団体の責務として、当該地域の状況に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有するとなっている。

本市における子どもの貧困の現状についてどう認識しているか。また、子どもの貧困実態調査を行なう予定はあるか。

**答弁**…国は3年ごとに貧困率を公表している。県及び本市では貧困率を算出する調査は実施していないが、子どもの貧困対策の中でも、ひとり親家庭への支援は、喫緊の課題と認識している。ひとり親家庭等を対象にした児童扶養手当の受給者数は、過去10年間、毎年約1200人で推移しており、今年度から、ひとり親家庭の親の資格取得について給付金の支給期間を延長するなど、支援の強化に努めている。

## 大垣市の防災共同社会の形成推進について

山口 和昭

**質問**…今回の熊本地震では、耐震改修が施されていた益城町役場の庁舎においても壊滅的な被害により、災害対策本部としての機能の遅れにより復興への大きな支障となった。

本市の新庁舎建設の早期完成を願うが、減災工事として液状化対策及び免震工事などの取組状況について伺う。

**答弁**…熊本地震では、多くの市町の庁舎が被災し使用停止となっており、本市における新庁舎の建設は、喫緊の課題であると再認識した。本市の新庁舎は、今回の熊本地震のような度重なる余震にも耐えられる免震構造を採用しており、建物が倒壊、損壊しないことはもとより、建物の揺れを大幅に低減することにより、天井の落下や什器の転倒などを防止し、継続的な使用を可能にしていける。

また、地盤改良による液状化対策を講じ、建物の基礎杭の損傷を防止するとともに、免震機能を十分に発揮できるようにしていく。

## 市民病院改革について

岡田 まさあき

**質問**…包括医療費支払い制度(DPC)対象病院は、役割や機能に応じた3群に分類されており、市民病院は、大学病院並みのⅡ群からその他の病院のⅢ群に降格したが、原因と医療報酬の減額はどれくらいか。患者対看護士の7対1看護の進捗状況は。外来患者への院外処方の達成状況は。

**答弁**…DPC対象病院の分類がⅡ群からⅢ群とされた原因は、入院患者の平均在院日数が長かったため、その影響が大きいと考えられる。入院収益の影響は、現段階での試算は困難である。今後は、地域の医療機関との連携を図り、患者さんの病態に応じた適切な退院支援等を強化していく。

看護配置の強化については、7対1の看護体制の実現を目指し、看護士の増員を図っており、引き続き適切な病院運営に取り組んでいく。院外処方への切り替えについては、取り組んでいるところであり、実績及び評価については市民病院に関する委員会で報告する。

また、地盤改良による液状化対策を講じ、建物の基礎杭の損傷を防止するとともに、免震機能を十分に発揮できるようにしていく。

## いじめ及び学校教育関連問題について

関谷 和彦

**質問**…いじめに関する児童生徒への定期的なアンケートの実施結果は。また、各小中学校へのほほえみ相談員の配置及びスクールカウンセラーの教育相談活動の実施状況は。学校だけでは対応が困難な場合の精神科医、弁護士、臨床心理士などで編成されるいじめ等スクールサポートチームの稼働状況を伺う。

**答弁**…本市の全小中学校では、児童生徒へのアンケートを年3回以上実施している。昨年度は、33件のいじめを認知し、早期発見・早期対応につなげている。

本市独自の取り組みとして、ほほえみ相談員を全小中学校に配置し、問題を抱えた児童生徒や保護者と懇談をするともに、担任やスクールカウンセラーとの連携も図りながら、子どもたちの不安や悩みの解消に努めている。

いじめ等スクールサポートチームの学校への派遣は、平成27年度は4回実施しており、メンバーの専門性や知見を生かした相談や助言を行うことで、問題の解決につなげている。

## 養老鉄道の活性化・再生に向けて

笹田 トヨ子

**質問**…養老鉄道の再生に向けた法定協議会が設立されることになった。幅広い住民参加のもと、西濃全域のまちづくりをめざし広域的で総合的な交通理念と方針を打ち立てるとともに、養老鉄道に対し、経営見直しや利用促進など黒字化にすべく運行計画を求めたい。

**答弁**…養老鉄道養老線については、平成29年中を目途に新たな事業形態へ移行する。今後は、養老線を中心とした公共交通ネットワークの活性化及び再生についての検討だけでなく、西濃地域のまちづくりや観光振興についても計画作りの中で検討していく。

事業運営は、経営の改善や、事業の効果等について検討し、沿線市町と鉄道事業者で策定する鉄道事業再構築実施計画に定めていく。

法定協議会は、沿線市町をはじめ、中部運輸局や関係行政機関や利用者、学識経験者等の参加を検討していく。

住民参加等は、アンケート調査やパブリックコメントの実施等により、広くご意見を伺う。

## キラリと光る若い企業の積極的誘致について

田中 孝典

**質問**…本市への移住定住事業の第2弾として、小型でもキラリと光る若い企業の積極的誘致を提案したい。このような企業は、豊かな自然環境、高速回線網、有利な交通網という高い条件を求めているが、本市の里山地域はこれにぴったりと適合すると思われる。市長の考えを伺う。

**答弁**…本市では、子育て支援施策をはじめ、地域の魅力を生かした移住・定住の促進や産業振興の推進、地域コミュニティの活性化などに取り組んでいる。

上石津地域においても、地域の皆さんと連携し、自然豊かな環境の中での魅力体験事業の実施などにより、昨年度は、7世帯、17人の方が移住されている。

里山地域への若い企業の誘致については、移住・定住を促進する上で、企業誘致による雇用の場の確保は、大変重要であると考えられることから、地域の皆さんの意向を伺いながら、研究していく。

子育て日本一が実感でき、雇用と人の流れが生まれ、安全・安心な暮らしができるまちの創生に努めていく。

## 養老鉄道と地域交通の再生について

横山 幸司

**質問**…養老鉄道養老線に係る事業形態変更に関する基

本合意に基づき、新法人設立への出資、沿線市町による支援や負担割合、スケジュール等が発表された。今後、バスやタクシーなどを含めた地域公共交通網形成計画の内容と黒字化に向けての取り組みについて伺う。

**答弁**…養老鉄道養老線については、本年3月の協議において養老線を存続させることとし、平成29年中を目途に新たな事業形態へ移行することについて基本合意した。

地域公共交通網形成計画については、沿線地域のまちづくりや観光振興等にも配慮した、持続可能な地域公共交通の活性化及び再生に関する基本的な方針などの事業計画等を検討し、策定していく。

市民の交通利便性向上と黒字化へ向けては、今後策定する鉄道事業再構築実施計画において、経営の改善や、沿線市町による支援、事業の効果等について定めていく。交通利便性向上については、バスやタクシーの二次交通を含めた養老線沿線地域の公共交通ネットワークの活性化の観点から検討していく。

英語教育について

長谷川 つよし

質問…本市はこれまで英語

教育に関して、特定の学校で研究指定を受けるなど先進的に取り組んできたが、どのような成果が得られているのか。また、こうした成果を市内全校へ波及させ、児童・生徒の英語力を高いレベルへの引き上げと同時に、小学校教諭の英語力のさらなる向上が必要と考えるが、その対策を問う。

**答弁**…小学校の英語教育は、国に先駆けて平成18年度から3年生以上に週1時間、英語科を設置し、聞くこと、話すことに重点を置いた指導を実施しており、西濃管内では本市のみの事業である。

研究指定校の取り組みについては、平成26年度から4年間、中川小、小野小、星和中と大垣西高が、国と県から拠点校の指定を受け研究を進めている。

成果としては、昨年度、星和中で実施した英語能力判定テストでは、国が目標としている英語検定3級程度の英語力を身につけている中学3年生の割合50%を大きく上回る69%との結果が出ており、子どもたちの英語力が確実に伸びてきている。こうした成果については、授業公開や刊行物等を通して、市内の全小中学校への普及に努めていく。

小学校では、学級担任が主体となつて英語の授業を進

めているが、どの教員も自信をもつて授業ができるよう、研修会等を実施するとともに、ALT(外国語指導助手)等を配置し、授業の充実を図っている。

危険空き家への早期対策

空 英明

質問…空き家が増加の一途

をたどる中、特に所有者の死亡等で法に定める助言や指導などの措置がとりづらな問題となっている。地域コミュニティを疲弊させ、市民の安全・安心を脅かす危険空き家への対策を市政の重要課題とし、専門家の活用や人員増強を図る等の実効性のある対策を望む。

**答弁**…危険空き家が地域にとって深刻な問題となる中、本市でも空き家問題として重要な課題として捉え、昨年4月には住宅課に総合窓口を設置した。相談のあった空き家への対応は、庁内連携を図りながら現地調査を行つており、特に保安上危険となるおそれのある特定空き家等については、所有者等へ助言、指導等を行っている。

空き家問題の専門家等の活用については、昨年7月に弁護士、土地家屋調査士などで組織する空家等審査会を設置して、危険空き家

の対応について、助言をいただいている。

また、死亡や所在不明等により、所有者等の特定ができずに対応に苦慮している空き家について、適宜、審査会委員である弁護士等に相談し、的確な対応に努めていく。特に地域の方々からご相談のありました危険空き家については、迅速な対応に努めていく。

食品ロス削減に向けての取り組みについて

中田 ゆみこ

質問…世界では全人類が生

きるために十分な量の食べ物が生産されているが、その3分の1が捨てられている。中でもまだ食べられるのに捨てられる食品ロスは経済や環境、社会に影響を及ぼす問題である。給食・食育・環境教育などを通して学校での啓発や、家庭での食品在庫の適切な管理、市民と事業者が一体となる取り組みを求める。

**答弁**…小中学校や保育園等における啓発は、給食や教科等の指導を通して食べ残しや期限切れの廃棄を減らすことの大切さを子どもたちに伝えるとともに、給食だよりの配付を通して保護者への啓発にも努めている。家庭や事業者への取り組みとして、家庭では食品の

適正量の購入や食べ残しを減らすなどの啓発により、食品ロスを発生源で抑制するとともに、ダンボールコンポストなどによる生ごみの堆肥化も推進している。

事業者に対しては、飼料・肥料への再生利用等の取り組みを促進していく。なお、飲食店での食べ残しを減らす運動など、市民と事業者が一体となった取り組みについては、今後研究していく。

3歳未満児の退園制度について

粥川 加奈子

質問…3歳未満児の育児休

業中の退園制度は、退園児が環境の変化等によりストレスを感じ精神面、体調面で病的症状に陥るなど母子共に悲痛の訴えがある。県内には、下の子が1歳になるまで在園可能などの緩和策を講じる市もある。また、地域型保育事業の検討も含め、本市の対応を求める。

**答弁**…本市では、育児休業期間中の3歳未満児については、保育の必要性を認定することができないことから、継続入園をお断りしているが、育児休業者の体調不良や同居家族の看病、介護等、特別な事情が認められる場合は、継続入園ができるようにしている。ま

た、3歳以上児については、育児休業期間中であっても発達上の環境変化の影響等を考慮して、継続入園ができるようにしている。

さらに子育て支援として、一時保育などのサービスを提供しているほか、現在改築中の日新幼稚園において、新たに0歳児保育を実施するなど、3歳未満児の受け入れ体制の拡充を図っていく。

地域型保育事業については、今後の研究課題とさせていただきます。



岡田まさあき議員に嚴重注意

13日の一般質問及び15日の市民病院に関する委員会の際に配付した資料の数字の記載誤りやそれに伴う発言誤りについて、本人から訂正の申し出がありました。不適切な発言は前回に続いてのことであり、最終日の議会運営委員会でも議長から、議員として発言の責任の重さを認識し、慎重に発言をし、資料配付する場合は、正しい根拠に基づく正確な資料を配付するよう嚴重注意を行ないました。なお、本人からは謝罪がありました。

# 委員会構成

※第1回市議会臨時会を5月12日に開会し、委員が次のとおり決まりました。

常任委員会		議会三役	特別委員会
企画総務委員会(6人)	経済産業委員会(5人)	議長 川上孝浩	市民病院に関する委員会(5人)
委員長 横山幸司	委員長 石川まさと	副議長 日比野芳幸	委員長 粥川加奈子
副委員長 関谷和彦	副委員長 北野ひとし	監査委員 中田ゆみこ	副委員長 田中孝典
委員 粥川加奈子	委員 石田仁		委員 山口和昭
" 日比野芳幸	" 岡田まさあき		" 岡田まさあき
" 山口和昭	" 林 新太郎		" 林 新太郎
" 笹田トヨ子			子育て支援日本一対策委員会(5人)
文教厚生委員会(5人)	建設環境委員会(5人)	議会運営委員会(7人)	委員長 石田仁
委員長 丸山新吾	委員長 田中孝典	委員長 山口和昭	副委員長 中田としや
副委員長 長谷川つよし	副委員長 空 英明	副委員長 田中孝典	委員 中田ゆみこ
委員 中田ゆみこ	委員 中田としや	委員 関谷和彦	" 日比野芳幸
" 川上孝浩	" 岩井哲二	" 粥川加奈子	" 高橋 滋
" 岡本敏美	" 高橋 滋	" 笹田トヨ子	
		" 岩井哲二	
		" 石川まさと	

特別表彰  
議員25年以上  
高橋 滋 議員

去る6月6日、定例会の開会前に全国市議会議長の永年在職議員表彰の伝達があり、川上議長から表彰状が手渡されました。

功績をたたえ  
永年在職議員表彰を伝達

## 平成28年第1回臨時会 議案審議結果一覧

全会一致で可決された議案

議案番号	議案名	議案番号	議案名
議第50号	大垣市固定資産評価員の選任について	報第3号	専決処分の報告並びにその承認について
議第51号	大垣市監査委員の選任について	報第4号	専決処分の報告並びにその承認について

## 平成28年第2回定例会 議案審議結果一覧

全会一致で可決された議案

議案番号	議案名	議案番号	議案名
議第52号	平成28年度大垣市一般会計補正予算(第1号)	議第58号	大垣市非常勤消防団員等損害補償条例の一部改正について
議第53号	平成28年度大垣市病院事業会計補正予算(第1号)	議第59号	財産の取得について
議第54号	大垣市市民サービスセンター設置条例の一部改正について	議第60号	損害賠償の額の決定について
議第55号	大垣市議会議員及び大垣市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部改正について	議第63号	大垣市教育委員会委員の任命について
議第56号	大垣市子育て総合支援センター条例の一部改正について	議第64号	大垣市固定資産評価審査委員会委員の選任について
議第57号	大垣市道路路占用料徴収条例の一部改正について	議第65号	人権擁護委員候補者の推薦について

賛否が分かれた議案

議案番号	議案名	議長	議会内統一会派															議会内統一会派						
			自民クラブ										市議会公明党	民主クラブ		市民ネットワーク	日本共産党							
			川上孝浩	山口和昭	田中孝典	関谷和彦	岩井哲二	石川まさと	林新太郎	高橋 滋	岡本敏美	石田 仁	日比野芳幸	空 英明	横山幸司	中田ゆみこ	粥川加奈子	丸山新吾	北野ひとし	長谷川つよし	岡田まさあき	笹田トヨ子	中田としや	
議第61号	市道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
議第62号	市道路線の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×

○=賛成、×=反対 議長は採決に加わらないため、斜線としています。

委員 委員 委員 委員 委員 副委員長 委員長  
 中山 空 北野 田中 岡田 関谷 横山  
 としや 英明 ひとし 孝典 まさあき 和彦 幸司

平成二十八年度  
編集委員の紹介

◆一般質問の録画放映(ケーブルテレビ)  
 大垣市議会では、市民の皆さまに議会活動への理解を深めていただくため、各定例会(3月、6月、9月、12月)の一般質問を大垣ケーブルテレビ(11ch)による録画で放映しています。  
 次回の放映は、9月中旬(一般質問が行なわれた週の土・日)を予定しています。

◆本会議・委員会の会議録がご覧いただけます。  
 本号に掲載された質問・答弁等の詳しい内容については、図書館、市政情報コーナー、市議会ホームページなどでご覧いただけます。  
 (発行・掲載予定8月下旬)  
 ホームページは